

# 飯高地区

## 福祉フォーラムだより

NO. 3

平成23年 3月25日発行

飯高地区社会福祉協議会

### 3年目に向けて

#### ☆ 社会福祉協議会会長 平山 廣

地域福祉フォーラム事業も2年目を終わろうとしております。地区の皆様方にはフォーラム事業にご支援ご協力をいただき、当事業が目指す方向に少しは進んでいると思っております。

22年度予定した事業計画も予定通り実施され、特に高齢者対策としてのサテライトデーサービスは皆さんから大変喜ばれました。今後も実施したいと思っております。災害時要援護者マップ作りも担当された方々の努力により素晴らしいマップが出来上がり、各種団体長、地区民生委員等に保管していただき、今後の活用に最大限生かしたいと考えております。

小学校、保育所の跡地利用につきましては、昨年につき今年度も2ヶ所の視察研修を行いました。視察してみて跡地利用については、地元と市が真剣に研究・検討して取り組んでいかなければと思います。保育所の跡地利用について、先般、市長との話し合いの場をいただき、地区の要望意見、市の方針など話し合いました。市長も「新生匠瑳戦略会議」において検討していきたいとのことでした。

跡地利用につきましては、今後とも地区の皆様方や市との話し合いなど、飯高地域の活性化につながる様進めて行きたいと思っております。地区の皆様のご意見をお聞かせください。

#### “ あなたの一言が ”



飯高地区民の皆さん《みんなで作ろう元気のある飯高を》

※ ご意見、ご希望等いつでもお申し出ください。お待ちしております。

#### ☆ 第3回地域福祉フォーラム（話し合い）開催

22年10月3日に社会福祉協議会の方々や各種団体の皆様多数参加をしていただき地域福祉フォーラムが開催されました。一番大きなテーマとして小学校と保育所の跡地問題が多く時間を割いて検討がなされました。その他、災害時要援護者問題・安心箱設置・サテライトデーサービス・視察研修の事などが、活発に話し合いが行われました。



##### ◎ 小学校・保育所の跡地問題

小学校の跡地については、特別養護老人ホーム・体験型宿泊研修所・匠瑳市歴史文化資料館・匠瑳市北部図書館・匠瑳市各種団体事務所・匠瑳市産業会館等多くの意見が出ましたが、これという名案がなくもう少し時間をかけていろいろな例を視察・検討しながら考え

るという事になりました。

保育所については、現在の施設をあまり改造しなくてもできる介護施設に適切だろうと言うことで、地域密着型小規模介護施設にして、近隣の高齢者が利用出来る施設にする事が良いという意見が多く、皆さんのご賛同を得ました。

この検討の結果を踏まえて、11月15日に飯高の社会福祉協議会メンバー5人で市長に面談して、小学校・保育所の跡地問題について飯高地区の要望を言い話し合いましたが、市長は「匝瑳市戦略会議で検討させていただきます」という回答でした。今後戦略会議の中で検討されると思われます。

#### ◎ 災害時要援護者問題

災害時要援護者マップは、地区役員方々のご協力により、22年10月に登録者の同意を得て完成のはこびとなり、一人暮らしの方や高齢者で災害時援護が必要な方35名の登録が終わりました。

今後、飯高地区の民生児童委員・各種団体長・飯高駐在所の方に保管していただき、もしも災害があった時には役立てていただきたいと思います。23年度はマップを基に避難の仕方、また安否の確認方法の検討をしていく必要があると思われます。



## ☆ 第1回サテライトデーサービス開催

飯高地区の高齢者のみなさん三十数名の参加をいただき、飯高コミュニティーにおいて10月1日サテライトデーサービスを実施いたしました。9時より始まり匝瑳市社会福祉協議会職員の方と、看護師の方など4名の指導もとに血圧測定や、問診で健康状態のチェックしていただいた後、高齢者の健康の話や健康体操の指導を受け、その後、ボールなどを使ったゲームはみんな元気いっぱい、大きな声援を受けながら悪戦苦闘でした。お昼には社会福祉協議会で用意した弁当を食べながらの懇談は、時を忘れさせました。飯高地区にいても高齢者がなかなか会う機会が少なくなったこの頃、参加者からももっとこの様な機会を開いてほしい、また参加したいと要望が出されました。



地域福祉フォーラムの一貫として初めて開催したサテライトデーサービスですが、地域高齢者交流の場として、今後定着させる必要性を大きくしました。



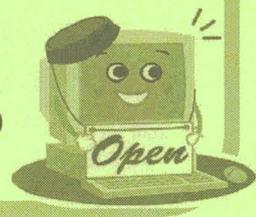
### 地上デジタル放送

平成23年7月24日正午より今までのアナログ放送は見られません。

● 電話での相談は

デジサポ千葉

043-333-7100



# 地域福祉フォーラム視察研修

(平成22年11月21日～22日)

昨年が続いて小学校の跡地問題を考えるというテーマのもとに、廃校を有効利用している施設を視察しました。参加者は地区社会福祉協議会と各種団体のメンバー二十数名でした。第一日目は茨城県大子町の大子おやきの学校、二日目は栃木県芳賀町の芳賀シルバー人材センターを訪問して施設の視察や運営状況など説明を受けてきました。

## ☆ 茨城県大子町大子おやきの学校

(用途：地域農産物等活用型 総合交流促進施設)

おやきの学校

平成8年過疎化により真野地小学校が廃校となり、この地域で古くからおやきを食べる習慣があったことから、町長の発案によりおやきの研究を地域住民と行い特産物化しました。施設の運営や維持管理においては、地域の積極的な協力が得られているということです。

財源は農林水産省や町の補助金、又は施設利用料(売店、レストラン、おやき、そばの体験教室)などで、第三セクターが運営主体。主な利用者は観光客で、31,100人ほどです。



## ☆ 栃木県芳賀町シルバー人材センター・第二けやき作業所

(用途：シルバーの作業斡旋、授産施設)

第二けやき作業所

平成12年生徒減少により稲毛田小学校が廃校となる。平成9年より跡地利用計画審議会を組織して、地元の意見聴取を経て利用方法を検討した。

建物は鉄筋コンクリート2階建てで床面積は1,849平方メートル。財源、整備はシルバー人材センターと町で半々、シルバー人材センターの運営維持管理費は町、国の補助金(970万円)と利用料で運営主体は社団法人シルバー人材センター、利用者は11,000人です。第二けやき作業所は国、県、町の補助金(290万円)で運営主体は社会福祉法人こぶしの会、利用者は3,700人。



以上二箇所の視察でありましたが、十分な時間をとって質疑応答による情報収集に取り組んできました。事前に資料調査や質問事項のやり取りをして、状況を想像していましたが、実際に視察してみると小学校の跡地問題は行政にとっても地区にとっても大きな課題であることを実感しました。二箇所の視察地を見て、廃校にいたる以前に行政側が主体となって跡地問題を地域住民と時間をかけて協議していた点が挙げられます。そして、地域の活性化や、福祉目的の活用という目的で国の補助金の助成を受けています。運営についてはいずれも地域住民の積極的な協力によって、地域の施設としての位置づけがなされていました。

視察当日、大子町のおやきの学校では、おやき祭りが行われていてグラウンドでは地域住民による豚汁などのサービスや特産物の販売が行われ、また歌謡ショーなどのにぎやかなイベントを見て、飯高小の跡地が地域の特性を踏まえて、匝瑳市の活性化と地域住民に活力を与える場

となるような施設に生まれ変わればとの思いを強くしました。全国の廃校リニューアルを見ると地域住民の交流施設に生まれ変わる例が最も多く、所有者である自治体が一般財源や補助金等を利用して施設の改築や運営の助成もしているとのこと。飯高小跡地も、多くの例を研究検討して頂き、飯高の住民が期待する施設にとの願いを強くしました。

## ★ 青少年健全育成会の活動

22年度より相談員は新しくなり、バスケットボールやドッジボールなどの講習を受けて匝瑳市の行事などでは、審判員やバスケットはオフィシャルを、その他マラソン大会など、市のスタッフとして活躍しています。

飯高地区の行事として、夏は子供会と協力してバーベキュー・花火大会を行い、秋には飯高地区を親子で歩くウォークラリー大会、

2月になって親子遠足としてバスで大洗の水族館へ行き、楽しい1日を過ごしました。

小学校はなくなりましたが、飯高の子供たちのために、これからも頑張っています。



大洗海岸



## ★ 飯高地区民生児童委員



葉計 幸雄	(安久山・小高・城下担当)	☎ 74-0469
熊切 茂	(金原・大堀・片子担当)	☎ 74-0556
山崎 猛	(仲台・公崎担当)	☎ 74-0889
木下 喜久江	(主任児童委員)	☎ 74-0517

※ 平成22年12月に改選されました。

## ★ 平成23年度飯高区長会

金原区長 (区長会会長)	佐藤 正雄	☎ 74-0593
片子区長 (区長会副会長)	那須 正実	☎ 74-0809
大堀区長	木下 克己	☎ 74-1018
仲台区長	安藤 幸雄	☎ 74-0862
城下区長	玉澤 幸雄	☎ 74-0106
小高区長	萩原 公一	☎ 74-0463
安久山区長	木下 孝明	☎ 74-2010
公崎区長	平山 年男	☎ 74-1825

Supported by the National Gardens Scheme : 英国 The N.G.S.後援

## The N.G.S. Japan

社団法人 N.G.S. ジャパン ～庭園福祉活動～

# 第9回 ガーデン・オープン・チャリティ in 匝瑳 2011

## 「庭園一般公開」 ～お庭巡りと周辺散策コース～

### 平成23年5月4日(水)&5日(木)

千葉県匝瑳市において「N.G.S.ジャパン～庭園福祉活動」の「ガーデン・オープン・チャリティ」(庭園一般公開)が開催されます。今回の入園料の収益は環境保全や里山保存のために活動している団体に寄付する予定です。

☆ 匝瑳市「ガーデン・オープン・チャリティ～お庭巡りと周辺散策コース～」 & 「フローラルコンサート(花の音楽会)」:

- ・ 期日:平成23年5月4日(水)&5日(木) 10:00am ~ 16:00pm
- ・ 入園料:大人1人 500円 (中学生以下無料)
- ・ チャリティ先:「ちば里山センター、(社)千葉県緑化推進委員会など」



安久山の大シイ 匝瑳市指定「天然記念物」

19世紀の末に建築された民家と幹周り10メートルの巨樹『安久山の大シイの木(県内最大)』スダジイを中心にツツジ・山野草の風情ある昔ながらの日本庭園です。ご近所の2軒のお庭の協力もあり、美しい里山の散策も同時に楽しみ下さい。

☆受付場所:〒289-2178 千葉県匝瑳市安久山197

(駐車場:旧飯高小学校跡駐車場・他)

☆マップ:「お庭と周辺散策コース」の地図を受付にて配布。

☆アクセス:JR線八日市場駅下車、シャトルバス有り。

☆サービス:お茶とお菓子など



**ガーデン・オープン・チャリティは毎年、ゴールデンウィークの5月4日・5日に開催。**

<お問合せ・連絡先>:「N.G.S.ジャパン～庭園福祉活動」

(谷口:090-9964-8347 平山:090-5311-6799)

Tel: 03-3782-8977 / Fax: 03-5749-2322 / URL <http://www.ngs-jp.org/>

# 飯高 地域まるごと体験博物館



地域社会の人びとの生活とその自然および社会環境の発展を史的に探求し、自然および文化遺産を現地に置いて保存し育成し展示することを通して当該地域の発展に寄与することを目的とする新しいタイプの野外博物館です。



## 飯高檀林と歴史探索の道(120分)

日本最古の大学『飯高寺(飯高檀林)』を中心とした歴史探索のコースで数多くの国の重要文化財や市の重要文化財を拝観できます。また飯高地区には数多くの神社(13社)や寺院(16寺)があります。

飯高寺は、日蓮宗寺院です。同寺は、明治7年(1874)までおよそ290年余り、日蓮宗の檀林(学問所)として多くの学僧を輩出しました。境内敷地は、67,667㎡を有し、境内全体が檀林跡として県指定史跡に指定され、うっそうとした杉林が歴史の重みを感じさせてくれます。天正8年(1580)教蔵院日生によって開かれた妙雲山法輪寺(妙福寺学室)は同19年(1591)11月、徳川家康から寺領30石の寄進を受け、慶長元年(1596)初代化主(檀林長)蓮成院日尊の代、講堂が現在地に建てられ檀林の基礎が確立しました。第3世化主心性院日遠は、檀林の規制制定に尽くし、梵鐘銘に「飯高教寺」「根本檀林」と見られるように、関東8檀林・関西6檀林、全国14の諸檀林中、揺るぎない地位を築きました。明治の廃檀後、飯高寺には、講堂・鐘楼・鼓楼・総門などの諸施設が現存しこの4棟は昭和59年国の重要文化財に指定されました。

### 里地里山文化と巨樹の道 飯高檀林と歴史探索の道



※地図内の円番号は解説写真の番号

#### ● 飯高地区の主な神社・寺院

1飯高神社 2天神社 3稲荷神社(御堂谷) 4星宮神社 5妙見社 6片子神社 7日枝神社 8天照皇大神 9八坂神社 10真宮社 11三社神社 12諏訪神社 13稲荷神社(前原)

1飯高寺 2妙福寺 3法華寺 4法福寺 5円成寺 6法界寺 7蓮福寺 8常観時 9妙長寺 10妙大寺 11賢徳寺 12妙経時 13妙印寺 14妙泉寺 15妙正寺 16円静寺



①飯高檀林の裾に広がる田園風景。向かって右側は『飯高檀林』の社寺林。



②妙見山妙福寺  
寺伝によると延慶3年(1310)の創建  
5月になると藤が美しく咲きます。



③飯高神社(妙見宮・明治初年に改名)  
妙見様の宮社として寛永年間に建立  
瑞垣の「二十四孝」の彫刻は見どころ。



④飯高寺の総門(国重要文化財)  
延宝8年(1680)新造、現在のものは天正2年  
(1782)新造。



⑤飯高寺の講堂(国重要文化財)  
県内最大の重要文化財の建物、最盛期には  
600名を超える学僧が学んだ。



⑥天神社(天神の森)の大シイ  
今の社殿は、享保2年(1717)8月建立。  
NHKの連続テレビ(ゲゲゲの女房)ロケ地



⑦水戸光圀の意をくんで植樹させたという黄  
門桜元禄13年(1699) 山桜の一種で、ソメイ  
ヨシノより1週間遅い。



⑧諏訪神社  
社伝によると応永15年(1408)9月勧請。



⑨八坂神社  
社伝によると元禄元年(1428)7月勧請  
子授けの神。奉納品が目玉に留まる。

## 里地里山文化と巨樹の道(60分)

身近な自然が体験できる里地里山で、猛禽類を頂点とする多くの生き物が生息しています。また県下最大の『安久山の大シイ木』をはじめ匝瑳市でも屈指の巨樹を観ることができ、春は桜・つつじなど花めぐりが楽しめます。

里山とは、薪炭林あるいは農用林・採草地のことであり、これに水田や畑などの農耕地さらに社寺林や屋敷林などを加えた田園の景観全体を里山ということが多いようです。いずれにしても里山は長い人間との関わりの中で維持されてきた半自然の環境であるが、多種多様な野生生物の温床となってきました。しかし、1950年代あたりから石油、天然ガスなどの化石燃料あるいは化学肥料などの普及により薪炭林・農用林は不要になり、拡大する都市に飲み込まれ始めました。また、農作物の輸入自由化や農家の高齢化などが農業の継続を困難にし、平地の水田では圃場基盤整備と機械化が進み、このような社会情勢の中で里山を生息場所とする野生生物に絶滅の影が忍び寄っています。田園の風景やそこで見られる野生生物は、都市住民の心を癒してくれます。画を描く、詩を読む、散歩する、野生生物を観察する、などレクリエーションが手軽に楽しめる自然が身近にあることは、人間の精神的な健全さを保つうえで重要な要素です。また、身近な自然は、子供の環境教育や情操教育の場としても利用できます。日本文化は里山の中で育まれてきました、その連続性を保つという観点からも、里山のような身近な自然を後世に継ぐことは価値のあることなのです。



①4月下旬から5月上旬はつつじが見どころ。写真は『ホンキリシマツツジ』でその他、多くの種類のつつじが観れる。(2008.4.26)



②匝瑳市で3番目(幹回り750cm)のシイの木。マルナカハイツ裏。



③『安久山の大シイの木』県下最大(幹回り1000cm)、樹齢1000年以上ともいわれる。『地井武男さんもビックリ!』(2010.6.26)



④平山邸のシイの木、匝瑳市で4番目(幹回り730cm)、5月の『ガーデン・オープン・チャリティ』では庭園と19世紀末築の母屋も公開。



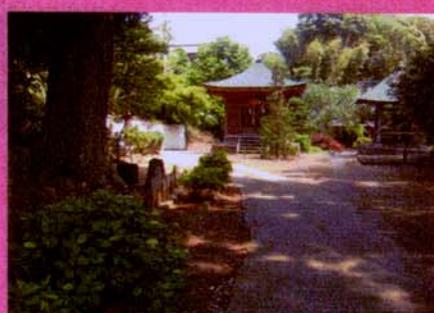
⑤毎年、猛禽類の鷹の仲間『サシバ』が子育てする『里山』です。5月中旬のスタジイの黄金色の新緑はととも美しい。(2005.06.04)



⑥木下邸のケルメツツジの生垣、散歩している人は『地井武男さん』。5月の『ガーデン・オープン・チャリティ』では自宅庭園も公開。



⑦表紙の大イチョウ(幹回り425cm)や大ツバキなどが観れる『稻荷神社(弘化4年)』で、11月下旬の紅葉は見事。



⑧円静寺の板碑と大イチョウ(幹回り375cm)。円静寺の『板曼陀羅』(市文化財)や『日祐上人像』(発軫堂)は必見。



⑨石橋邸の1,000坪の回遊式庭園内にある樽の茶室。5月の『ガーデン・オープン・チャリティ』では自宅庭園も公開。

## “地球という生態系の中で生きている仲間”

この地球上にはさまざまな生き物が、おのおのの関係を持ってくらしています。おおまかには「生産者」、「消費者」、「分解者」という3つに分けることができます。「生産者」は光合成によって、水と二酸化炭素から糖分などの有機物を作り出す植物です。動物は植物が蓄えた有機物を食べるか、他の動物を食べるしか、生きて行くことができません。そこで動物は「消費者」ということになります。植物や動物がその命を終ると「分解者」である菌類やバクテリアが、その死骸を無機物にまで分解し、それは植物の栄養素となります。このように本来は地球上のすべての生き物が、この「生態系」のサイクルの中で生きているのです。

植物を直接食べる動物を「1次消費者」その動物を食べる動物を「2次・3次消費者」というように、消費者である動物を分けることができます。ワシやタカ、フクロウなどの猛禽類は、食物連鎖における「高次消費者」になっています。特にこのような高次消費者にとって生きて行くために、多くの生き物がくらす、広範囲の自然が必要となります。人間もこの自然のしくみに深く関係し、自然の恵みを受けながら生きています。



「フクロウのフクちゃん」  
2008.05.05撮影  
フクはまだ赤ちゃんです。  
(安久山の大シイの木にて)

## ガーデン・オープン・チャリティのご案内 (開催日: 毎年5月4日・5日)

The N.G.S Japan

社団法人 N.G.S ジャパン ~庭園福祉活動~

Tel: 03-3782-8977 URL <http://www.ngs-jp.org/>



毎年5月4日・5日のゴールデンウィークに匝瑳市安久山(里地里山文化と巨樹の道)において「N.G.S ジャパン~庭園福祉活動」の「ガーデン・オープン・チャリティ」(庭園一般公開)が開催されます。入園料の収益は環境保全や里山保全のために活動している団体に寄付しています。

公開される3軒のお庭は、19世紀末に建築された民家と幹回り10mの巨樹『安久山の大シイの木(県内最大)』など、ツツジ・山野草の風情ある昔ながらの日本庭園です。お茶とお菓子(檀林まんじゅう)などのサービスが付きま

(入園料: 大人1人 500円(中学生以下無料))

## ☆ 花の音楽会 ~ Floral Concert ~

オープン・ガーデン会場で「花の音楽会」が同時開催されます!

・シンセサイザー・他(ヴァイオリン・ピアノなど、日程により異なります。)



「ガーデン・オープン・チャリティ」  
2007.05.04撮影(安久山の大シイの木と古民家)

## お食事処とお土産のご案内

・割烹『宇しろ』 & Yショップ

〒289-2178

匝瑳市安久山1-3

Tel: 0479-74-1178 ・ 0479-74-0520

・平山商店  
飯高SS

〒289-2173

匝瑳市飯高1557-1

Tel: 0479-74-1303



日本料理のお店で若主人(木下さん)が握る寿司・懐石膳がお勧め、県内から多くのお客が訪れます。玄関と宴会場からは山野草を植栽した和庭園が観られます。

・宇しろ定食: 850円  
・天ぷらそば: 750円  
・寿司: 1,100円より  
(お品書の一部より)



『Yショップ』ではお土産として『清酒(飯高壇林・黄門桜)』などを販売。

※ 今後、ツツジなどの植木・取立て新鮮野菜の販売、体験観光農園も計画中です。



飯高地区の仲台集落にあり、飲み物・おやつ・お土産などを販売。

## 地域まるごと体験博物館アクセスマップ



場所: 千葉県匝瑳市飯高  
(旧飯高小学校)

駐車場:  
旧飯高小学校の駐車場

★ グランド車両進入禁止



西側駐車場



東側駐車場

(西側駐車場が利用できない場合は  
東側駐車場をご利用ください)

車でのアクセス

- ① (東関東自動車道) → 富里IC → 国道296号 → 匝瑳市
- ② (千葉東金道路) → 横芝光IC → 国道126号 → 匝瑳市

電車でのアクセス

- 東京 → (JR総武本線・特急しおさい80分) → 八日市場 → 循環バス  
千葉 → (JR総武本線・特急しおさい50分) → 八日市場 → 循環バス  
循環バス: 市内の各地区と駅、市役所など結ぶ  
ワンコイン(100円)バス ■ 豊和・飯高循環  
★ 5月ゴールデンウィークはシャトルバス有り(無料)

飯高の巨樹と里山物語 2010.07.07  
Tel: 090-5311-6799